

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

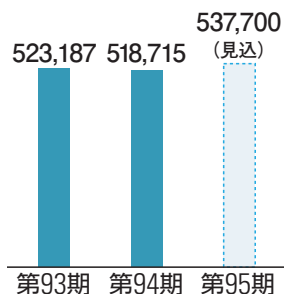
第94期の業績及び当社グループにおける取組みにつきましてご報告申し上げます。

取締役社長 山木 利満

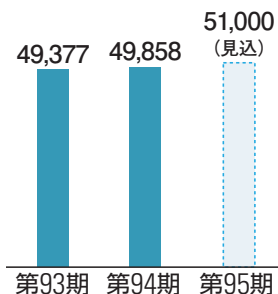


■ 連結業績ハイライト

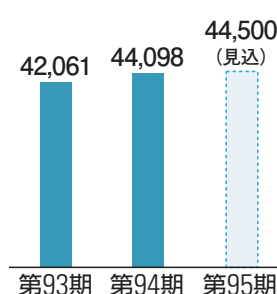
営業収益
(単位：百万円)



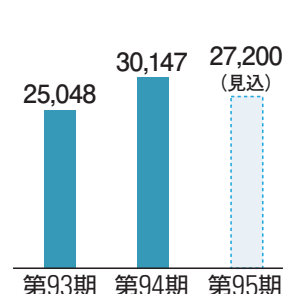
営業利益
(単位：百万円)



経常利益
(単位：百万円)



当期純利益[※]
(単位：百万円)



※連結財務諸表に関する会計基準の改正により、第95期から「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更

第94期連結決算の概要

営業収益は5,187億1千5百万円と、前期に比べ44億7千1百万円の減収(前期比0.9%減)となりました。

一方、営業利益につきましては、運輸業において費用が減少したことなどから、498億5千8百万円と、前期に比べ4億8千1百万円の増益(前期比1.0%増)となったほか、経常利益につきましては、支払利息の減少などにより440億9千8百万円と、前期に比べ20億3千6百万円の増益(前期比4.8%増)となりました。

また、当期純利益につきましては、前期に固定資産の売却に伴う損失を計上したことによる反動などから、301億4千7百万円と、前期に比べ50億9千8百万円の増益(前期比20.4%増)となりました。

なお、当期純利益につきましては、3期連続で過去最高益を更新いたしました。

中長期経営計画の策定

当社グループでは、事業環境の変化に対応し、グループ経営理念の実現と更なる事業成長を遂げるため、第100期までに取り組むべき方向性を示した「長期ビジョン2020」と、これを受けた3年間の実行計画である「グループ中期経営計画(2015～2017年度)」を策定いたしました。詳細は、3ページから4ページをご参照ください。

経営理念*：小田急グループは、お客さまの「かけがえのない時間」と「ゆたかなくらし」の実現に貢献します。

行動指針：私たちは、経営理念の実現のため、3つの精神(真摯・進取・融和)を忘れることなく、お客さまに「上質と感動」を提供します。

グループが10年後の将来に向けて、主に第100期までに取り組むべき方向性を示したもの

「長期ビジョン2020」を受けて3年間で実行していく計画

※経営理念は変更なし

第95期の見通し

第95期につきましては、不動産業における住宅販売戸数の増加や流通業の小田急百貨店新宿店や町田店での増収等により、営業収益は5,377億円(前期比3.7%増)を見込んでおります。

これに伴い、営業利益につきましては、510億円(前期比2.3%増)、経常利益につきましては、445億円(前期比0.9%増)と、それぞれ増益を見込んでおります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益*につきましては、特定都市鉄道整備準備金の取崩し終了等に伴う特別利益の減少により、272億円(前期比9.8%減)を見込んでおります。

※連結財務諸表に関する会計基準の改正により、第95期から「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更

